

(正誤表)

令和2年度 高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業 TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発 報告書 令和3年3月

ページ	場所	種類	誤	正
2-33	10行目	本文	試料 1g <u>あたり単位照射線量</u> 当たりの水素ガス発生量と自由水量の関係を図 2.1-36 に示す。	試料 1g <u>当たり単位吸収線量</u> 当たりの水素ガス発生量と自由水量の関係を図 2.1-36 に示す。
2-37	13～14行目 14～16行目	本文 本文	測定試験の結果、 <u>高照射線量率、高照射線量条件下での</u> 圧力を精度よく確認でき、常時測定において照射時間の増加に伴い圧力上昇が少しなだらかになる傾向が認められた。 また、線量率と <u>照射線量を変えた</u> 試験結果では、圧力容器内の圧力上昇値には線量率の違いによる影響は認められず、圧力上昇値が <u>実照射線量</u> に比例していた。	測定試験の結果、 <u>高吸収線量率、高線量条件下での</u> 圧力を精度よく確認でき、常時測定において照射時間の増加に伴い圧力上昇が少しなだらかになる傾向が認められた。 また、線量率と <u>吸収線量が異なる条件での</u> 試験結果では、圧力容器内の圧力上昇値には線量率の違いによる影響は認められず、圧力上昇値が <u>吸収線量</u> に比例していた。